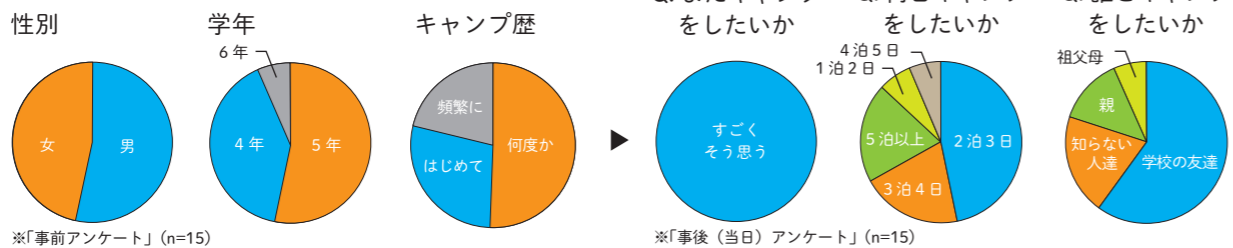


事業成果

今回のキャンプが、子どもたちにどのように寄与するのかを把握するため、アンケートを「事前」、「事後（当日）」、「事後（2ヶ月後）」の3回実施。なお、サンプル数が少なく、あくまでも傾向を把握するものである。

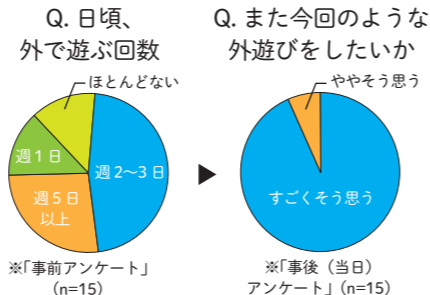
●キャンプ歴と今後の意向



活動終了後、全員がまたキャンプをしたいという意向を示している。また、今回のキャンプは1泊2日で実施したが、多くの方が、それ以上の長期間での実施を望んでいる。「誰とキャンプしたいか」については、「学校の友達」と回答した割合が多いが、次いで、今回のように「知らない人達」とまた行きたいという意向もあることが分かる。

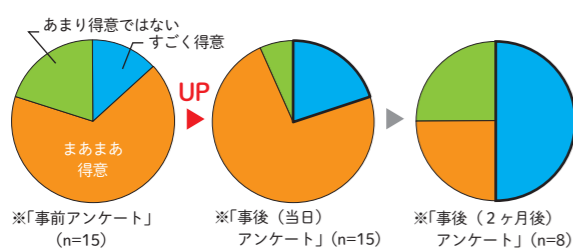
●外遊びの状況と今後の意向

キャンプ参加前に、日頃の外遊びの状況を聞いてみたところ「週2〜3日」が一番多く、次いで「週5日以上」、「週1日」と続くが、「ほとんどない」という人もいた。キャンプ実施後に、今回のような外遊びをまたしたいかを聞いたところ、ほとんどの方が「すごくそう思う」と回答している。このことから、日頃は外遊びしない人へも、今回のようなキャンプをきっかけに、外遊びへの興味関心を向上させたことが分かる。

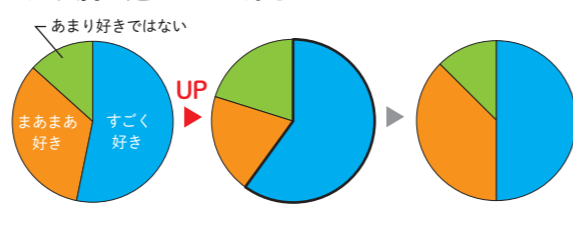


●キャンプによる意識変容 / 自然体験活動で「イライラ」が減少！

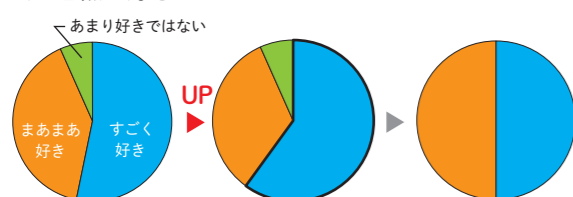
Q1. 友達をつくるのが得意か



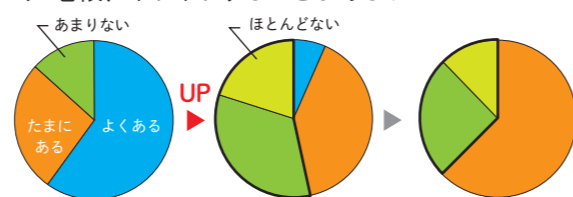
Q2. 大勢で遊ぶことが好きか



Q3. 自然が好きか

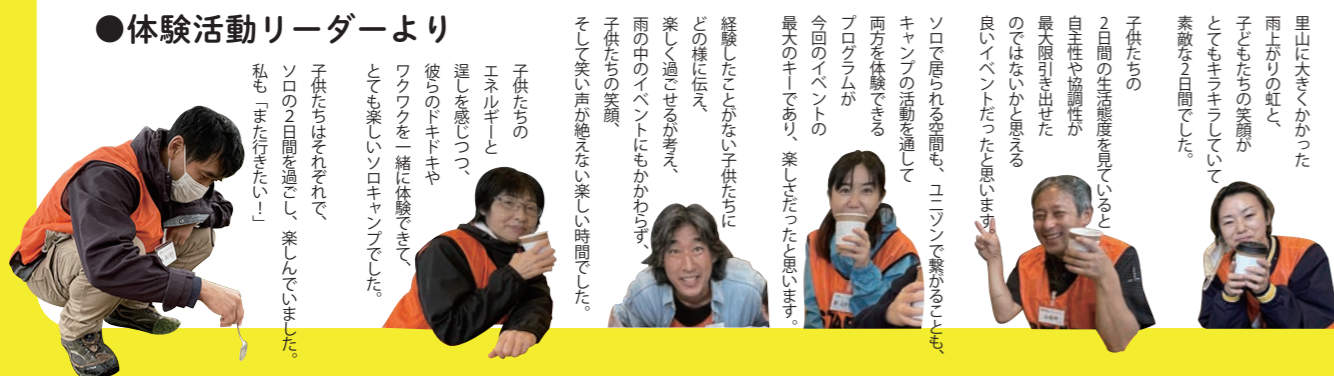


Q4. 普段、イライラすることがあるか



Q1.~4. の質問からキャンプ前後、および2ヶ月後の意識変容を分析した。Q1.~3. については「事後（当日）」に、いずれも「すごく得意」、「すごく好き」がアップしている。Q1. については「事後（2ヶ月後）」も維持されている。一方、Q2.3. については「事後（2ヶ月後）」では意識がほぼ戻っている。他方、Q4. については「事後（当日）」では「よくある」が減少し、「ほとんどない」、「あまりない」が増加している。また、「事後（2ヶ月後）」でも比その意識が比較的継続されており、今回の事業が「イライラ減少」につながっていることが推測できる。ただし、いずれも3回のアンケートを紐付けできたわけではなく、また「事後（2ヶ月後）」は回答数が半減しているため一概に変化を追えた訳ではないが、定期的なキャンプの機会が意識変容を促し、継続させることが期待できる。

●体験活動リーダーより



文部科学省委託

「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」

子供たちの心身の健全な発達のための自然体験活動推進事業 成果報告

コロナ禍での3密回避による子どもの「宿泊型体験活動」

◆本事業の趣旨

新型コロナウィルスの影響が長期化する中、子どもたちを対象とした体験活動の多くが自粛・縮小を余儀なくされている。

そこで、日中は野外での自然体験を主とした「3密回避」を行い、「検温・マスク・手洗い・消毒」を徹底すると共に、少人数のグループに分かれて活動を実施。

一方、宿泊体験は、事業①では「ソロキャンプ体験」、事業②では「体験民泊」による分宿として、就寝時も3密回避可能な体験になるよう努めた。

◆活動地域の特徴など

神奈川県足柄上郡大井町は、都心部から90分という位置にありながら、貴重な自然林を有する里山が広がる地域である。一方、高齢化や農家の後継者不足による農地荒廃、竹林荒廃など地域の課題が山積している。

持続可能な社会の実現を目指し、こうした課題解決の一助につながる交流体験活動を企画。地域の指導者（体験活動リーダー）と共に、竹林の整備体験や竹を使った食体験などを通じて、子どもたちの心身の健全な発達へ寄与すること、および地域交流につながる事業を企画した。

なお、本事業は当会で定める「新型コロナウィルス対応ガイドライン」に準じて実施し、事例②は「まん延防止等重点処置」発令により、やむなく中止とした。

「事例①」

みんなで、ソロキャンプ



「事例②」

里山で過ごす！民家にお泊まりの日。



大井町町長・小田 真一



大井町教育委員会教育長・夏苺 一壽



一般社団法人 神奈川大井の里体験観光協会

神奈川県知事登録旅行サービス手配業第59号

〒258-0012 神奈川県足柄上郡大井町柳 248 TEL/FAX : 0465-43-6309

E-mail : office@taikenkankou.com HP : http://taikenkankou.com

SNS : www.facebook.com/taikenkankou www.instagram.com/taikenkankou



密を避けてソロキャンプ。
でも、一人では不安だし、少しさみしいかも。

だから... みんなで、ソロキャンプ

【事例①】

日時：2021年10月16日（土）12:30～17日（日）12:00
場所：BIOTOPIA オートキャンプ場
定員：16名
申込数：158名
参加数：15名（1名キャンセルのため）
所感：各グループに体験活動リーダーが付き、グループ活動を基本としつつ、全体で共通体験を得られるようにプログラムを進行。大井町で増えている荒廃竹林の竹を使った体験を堪能。宿泊体験では、スタッフの不安をよそに、子どもたちはソロテント泊を満喫していた。



1日目

- 12:30 集合
オリエンテーション
- はじめての
ソロテント 設営体験
- 夜の灯り
竹灯籠づくり体験
- 食器づくり体験
(器、箸、竹筒の炊飯器)
- 焚き火体験・
お一人様 BBQ 体験
- 交流タイム
21:30 就寝

2日目

- 起床
富士見散策
- 朝食づくり体験
- はじめての
ソロテント撤収体験
- トゥクトゥク乗車体験
(BIOTOPIA マルシェへ移動)
- ふりかえり
12:00 解散



みんなで、ソロキャンプ 思い出アルバム



【事例②】

日時：2022年1月29日（土）12:30～30日（日）14:00
場所：農業体験施設「四季の里」、民泊家庭、ほか
定員：12名 ※まん延防止等重点処置の発令により
申込数：40名 やむなく中止

1日目

- 12:30 集合
オリエンテーション
- おやつづくり体験
・竹のバウムクーヘンづくり
・竹のコップづくり
- 民家の方との対面式
(各家庭に移動)
- 民家にお泊まり交流体験
(食事づくり)
- 民家の方との交流タイム
21:30 就寝準備

2日目

- 起床・散策
- 朝食づくり体験
- 民家の方とのお別れ会
- 竹林管理 / 伐採体験
・竹筒ごはん炊飯
・竹の箸、食器づくり
- ふりかえり
14:00 解散

里山で過ごす！
民家にお泊りの日。
お友達と

